

第34回 関西地区化合物スクリーニング講習会

がん細胞増殖運命追跡のための単細胞分取と培養

講師：井上 正宏 博士

(京都大学大学院 医学研究科クリニカルバイオリソース研究開発講座 特定教授)

日時：2023年1月25日（水）15:00 – 16:00

定員：100名（先着順）

開催形態：オンライン（Zoom）

申込方法：以下のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/fKX6HZ9f5EoSN8Xd8>



申し込み用
QRコード

〆切：2022年1月24日（火）13:00

* 締め切り後、Zoom開催情報及びアンケートフォームへのリンクをそれまでの申込者全員にメールでお知らせします。

* 申し込みフォームからは当日13時まで申し込み可能です

問い合わせ先：

京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター（ドラッグディスカバリーセンター）

メール：info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp

URL：http://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter

医学研究支援センターの活動は創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム（BINDS）のサポートを受けています



Cell picking & imaging system

CELL HANDLER™



この説明会は「令和4年度
医学研究技術実習」
受講時間にカウントされます
受講時間：2時間



HP

連絡用
メール
アドレス

講演要旨

単細胞の網羅的な遺伝子発現解析技術が大きく進歩し、がん研究にも広く応用されている。一方、遺伝子発現解析や免疫化学的な解析は、「スナップショット」つまり、解析した時点の姿（State）に関する情報である。その細胞の運命（Fate）を解析するためには、生きた単細胞を単離し、その後の運命を追跡する必要がある。フローサイトメトリーを利用した細胞の単離技術は優れた方法であり、そもそも単細胞である血球の研究には適した方法であるが、ソーティング時の細胞に対するダメージが大きく、固形腫瘍から機械的・酵素的処理で単細胞化したがん細胞の解析には適さない。本セミナーでは単細胞だけでなく、オルガノイドも迅速・正確かつ愛護的に単離する先端機器であるYAMAHA CELL HANDLERとその応用を紹介する。応用例として、私たちが行ったがんオルガノイドを用いたハイスループットスクリーニングと、単細胞の増殖運命の追跡による、がん細胞の薬剤耐性分画の可塑性に関する最近の話題を取り上げる。

ヤマハ発動機株式会社 細胞ピッキング&イメージングシステム CELL HANDLER™について

細胞/細胞塊サンプルを自動で撮影・解析・選択・分取・移動を行う装置です。

現在、医学研究支援センターにデモ機が設置されています。

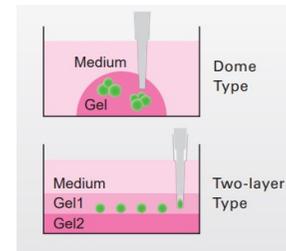


《製品情報リンク》

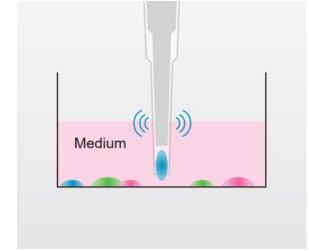
製品HP : <https://www.yamaha-motor.co.jp/hc/>

活用事例 : <https://www.yamaha-motor.co.jp/hc/case/application/>

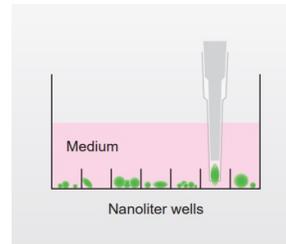
ゲルピッキング



接着細胞の剥がし取り



浮遊細胞の高効率分取



柔軟な
ピッキングサイズ対応

